

ご意見・ご要望を
お寄せください

日本共産党 区議会報告

発行:日本共産党品川区議団
2011年8月号 発行責任者:宮崎 克俊
TEL.5742-6818(直通) FAX.3778-3088
ホームページ **共産党 品川** [検索](#)

東日本大震災

被災者救援、原発撤退へ全力



宮城県石巻市へ震災ボランティア

日本共産党品川地区委員会の呼びかけで宮城県石巻市へ震災ボランティアを派遣。救援募金や支援物資を届け、泥かき作業を行いました(写真:6月26日)。

放射性物質測定結果 (7月19日測定分)

	セシウム134	セシウム137
小学校・花壇(南大井)	71	84
中学校・花壇(戸越)	110	110
幼稚園・園庭(八潮)	46	56
保育園・園庭(二葉)	30	34
公園・土遊び場(北品川)	検出されず	15
公園・砂場(南大井)	88	97

単位:Bq/kg(ベクレル毎キログラム)
※結果の全容は品川区ホームページをご覧ください

区議会第2回定例会を終えて

区議会第2回定例会で日本共産党は東日本大震災の被災者救援、原発からの撤退を正面から取り上げるとともに選挙で掲げた公約実現に奮闘しました。本会議の質問は新人の石田ちひろ区議がおこない①原発撤退を国に求め、自然エネルギーへの転換、②東日本大震災の区内の被害実態を調査し防災計画に生かす、③就労・自立困難な若者の支援、④南品川に公衆浴場の設置一を求めました。

一方、区長からは、品川学園の隣地を校庭用地として追加購入。豊葉の杜学園(杜松小・大間窪小・三中・四中を統合)と二葉すこやか園、荏原第五地域センターをひとつの建物で新築する「荏原東地区複合施設」工事契約。補正予算など提案がありました。補正予算の内容は、高齢者の安否確認、庁舎で地震による破損窓ガラス修繕や節電のため扇風機購入、高潮・津波対策基礎調査、住宅耐震化での建物除却助成などです。わが党は、補正予算に避難者の生活支援、大震災で打撃を受けた中小企業支援などを盛り込むよう求めました。

また、特養ホームについて区は、杜松小跡への開設の後にも増設するため用地取得の情報収集を積極的に行うと表明しました。

**被災者向け住宅の確保
エアコン設置、期間延長**
大震災発生から5カ月。共産党は被災者に寄り添う支援に力を注ぎました。被災地から知人などを頼って品川区に避難してきた方の住宅確保に取り組みとともに、避難者へ要望アンケートを実施。区民住宅の入居期間「半年間」の延長やエアコンの設置など実現しました。入居者から「本当に助かります」と喜ばれています。
放射能汚染から子どもたちを守る対策を
牛肉などへ放射能汚染が

広がりが、区民から不安の声があがっています。
品川区は6月中旬から区内2ヶ所で大気中の放射線量、小中学校・保育園・公園で土壌などの放射性物質測定を開始、区は測定結果(左表参照)をホームページに公表。福島原発から230キロも離れた品川区内にも放射性物質が届いている実態が明らかになりました。区は「日本人の1ヶ月のコメ摂取量で受ける放射線量より低いので心配ない」と説明しています。
しかし、測定は週一回・区

立の学校、保育園、公園等各2カ所ずつ。ホットスポットの発見にはきめ細かい測定が必要です。私立の保育園なども対象にするとともに、区民からの測定要望にも応じるべきです。結果によっては土壌の除去など子どもたちに極力放射能を浴びさせない対策も必要です。
なお、品川区議会は全会一致で、学校・幼稚園・保育所等における放射線量の安全基準値を早急に策定するよう求める意見書を政府に送りました。

原発撤退の声 品川からも

共産党は本会議の質問で濱野区長に、原発からの撤退を国に求めること。また区議会の各会派に、原発撤退を求める国への意見書提出を提案しました。区長は「国の責任において判断すべき事項」とのべ区長としての意見表明を避け、自民、公明、民主、ネット、無所属の各議員は意見書提出に反対しました。

自然エネルギー活用を

また、共産党は本会議で、自然エネルギーの本格的な活用に向け、区内の全公共施設への太陽光パネルの設置、民間住宅などへ設置補助の充実、区民参加の「緑のカーテン」づくりの積極的な取り組みなどを求めました。



区議選後初の品川区議会定例会が6月23日から7月6日まで開催されました。東日本大震災の被災者と震災で打撃を受けた区内事業者への支援が求められました。共産党は区内に

避難してきた被災者の救援、原発からのすみやかな撤退、放射能汚染から子どもを守る対策、住民から不安が出ている節電対策の見直しなど求め奮闘しました。